

喜界町における地域公共交通の課題について

令和4年3月23日

喜界町役場企画観光課

【目次】

1. 地域の現状
2. 地域公共交通の現状
3. 住民の移動特性やニーズ
4. 地域公共交通の役割
5. 地域公共交通の課題

1. 地域の現状

地勢

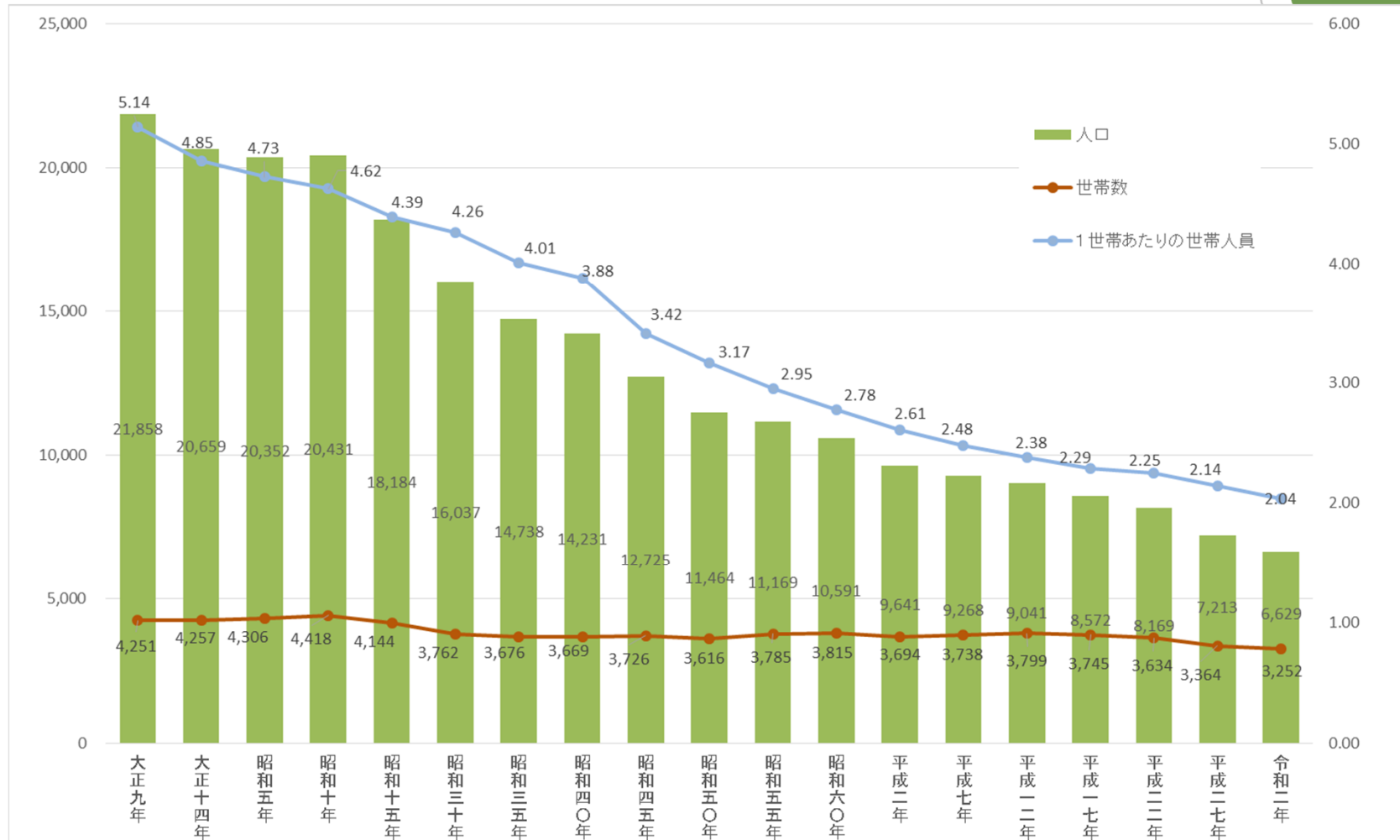
- 面積は56.82km
- 北東から南南西に長く、隆起サンゴ石灰岩の段丘により形成された平坦な島。
- 集落は島の中央部と海岸線に沿って展開し、湾・赤連・中里が市街地となっている。



人口

- 人口は6,629人で、世帯数は3,252戸（令和2年度）

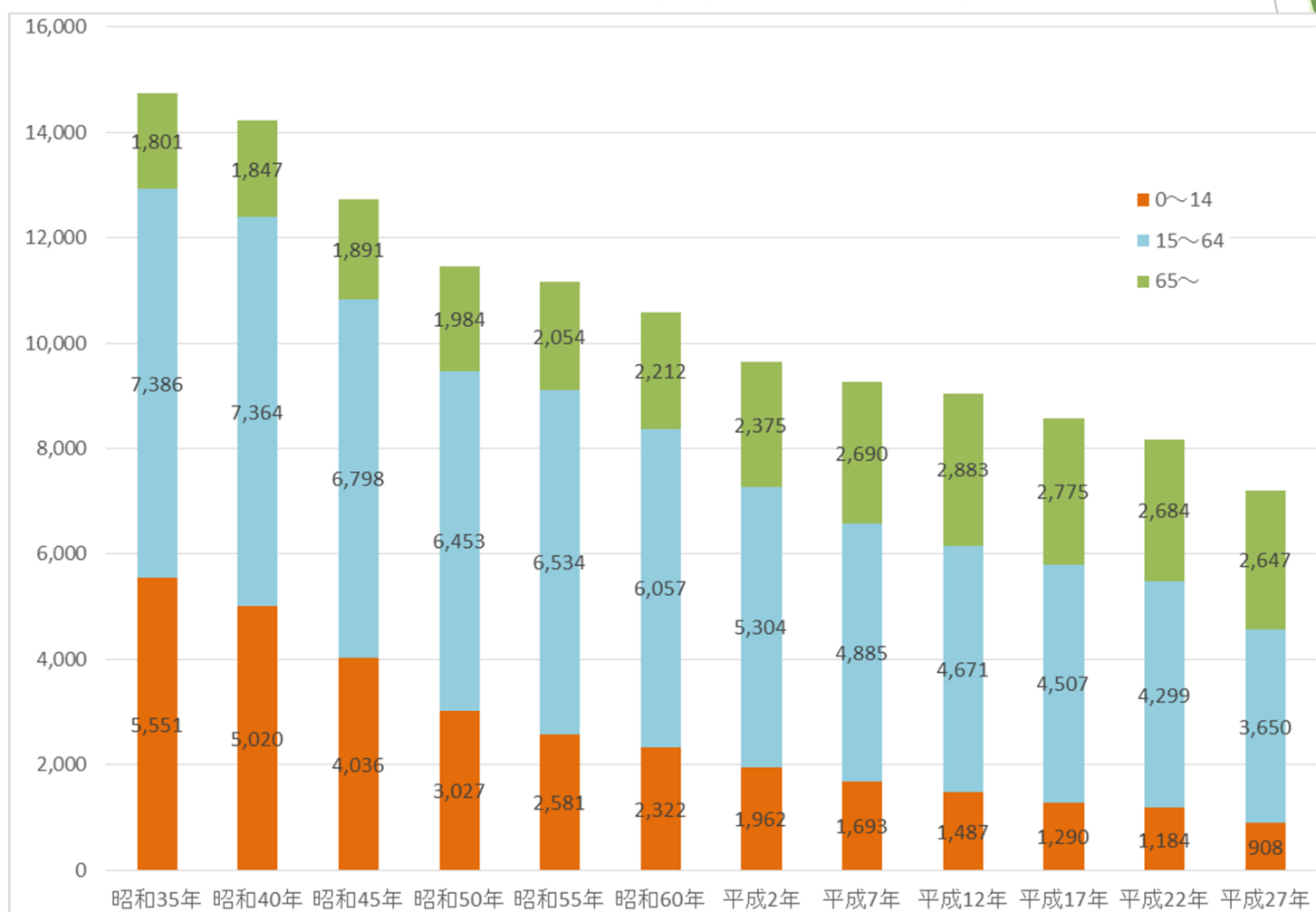
人口・1世帯あたりの世帯人員の推移 [令和2年国勢調査（速報値より）]



年齢3階級別人口

- 年齢3階級別人口は65歳以上が2,647人、15歳～64歳が3,650人、14歳以下が908人（平成27年）

年齢3階級別人口の推移 [平成27年国勢調査]



集落別人口および世帯数

- 市街地である湾・赤連・中里の人口が集中している一方、人口が少なく高齢化が進む小規模集落が点在している。

集落別人口および世帯数 [令和3年3月末現在 / 町民税務課]

集落	世帯数 (戸)	人口 (人)	集落	世帯数 (戸)	人口 (人)
湾	651	1,277	中熊	34	61
赤連	626	1,115	大朝戸	31	47
中里	338	724	西目	10	15
荒木	244	427	坂嶺	64	115
手久津久	73	117	伊砂	24	44
上嘉鉄西	75	131	伊実久	60	104
上嘉鉄中	63	130	前金久	71	121
上嘉鉄東	65	121	神宮	136	233
先山	56	91	志戸桶東	118	238
浦原	50	80	志戸桶南	121	212
川嶺	129	175	佐手久	98	167
羽里	50	90	塩道	93	154
山田	10	12	早町	61	101
城久	43	80	白水	46	81
滝川	19	28	嘉鈍	49	88
島中	33	46	阿伝	36	68
池治	60	100	蒲生	22	33
中間	20	39	花良治	55	84
先内	10	18	合計	3,744	6,767

2. 地域公共交通の現状

主な地域公共交通手段

- 主な公共交通手段は、路線バス、タクシー、スクールバス

〈路線バス〉

昭和50年から大島運輸株式会社（現：株式会社奄美航空）が喜界バスの運行を開始。現在3路線（北本線・南本線・中央線）を運行。

〈タクシー〉

一時、3社が営業していたが、うち2社が廃業し、現在は有限会社日の出タクシーの1社のみ営業。

〈スクールバス〉

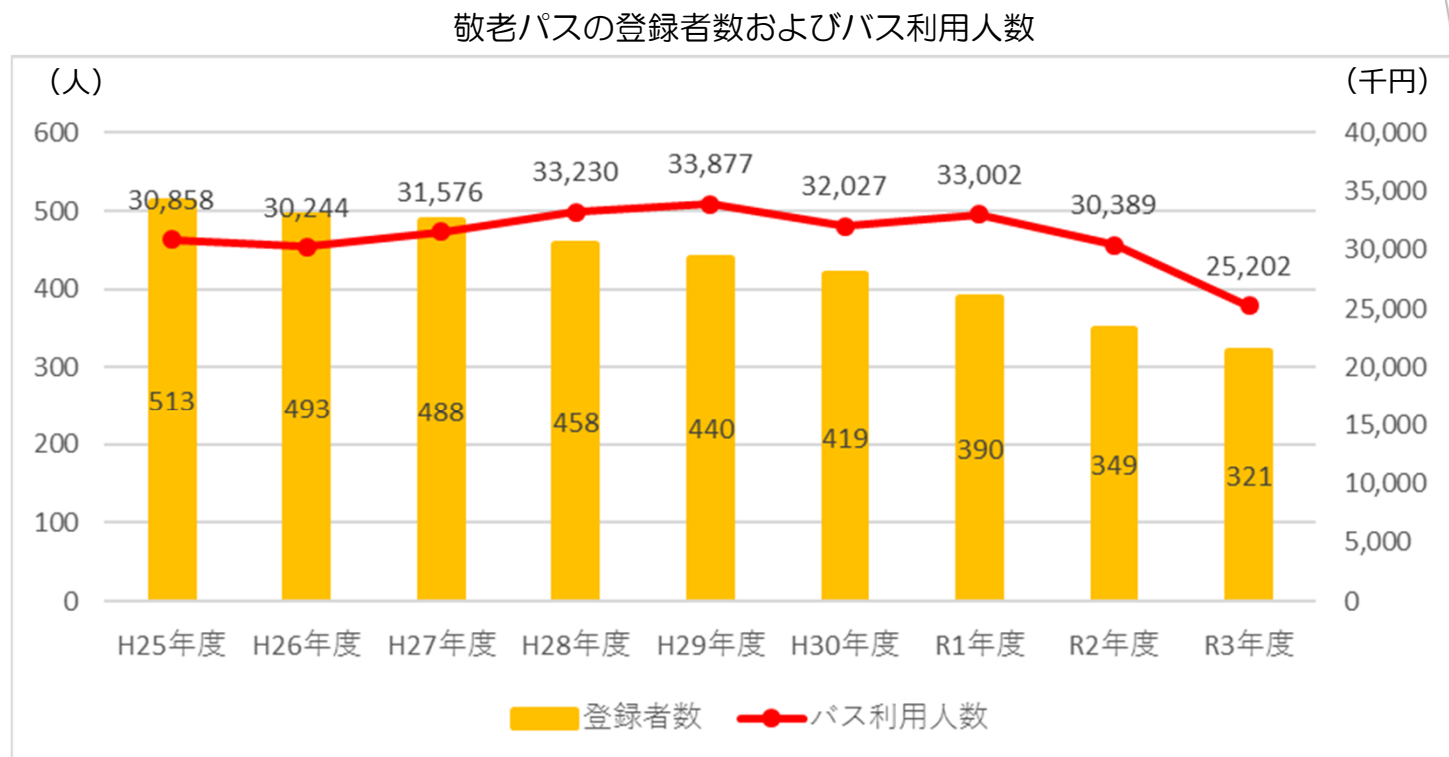
平成24年の学校統廃合に伴い、株式会社喜界総合企画へ委託し、スクールバスの運行を開始。

路線バスの概要

路線	北本線	南本線	中央線
主な経路	市街地を周回 ～赤連から島を時計回り ～市街地を周回	市街地を周回 ～中里から島を反時計回り ～市街地を周回	市街地を周回 ～赤連から入って羽里へ (～羽里から入って赤連へ) ～市街地を周回
運行日	毎日		
運行本数	1日8便 ※日曜・祝日は6便	1日8便 ※日曜・祝日は6便	1日4便 ※日曜・祝日は3便
運行時間帯	7:00～19:31	6:30～18:40	7:40～16:29
運賃	<p>【普通運賃】150円～300円</p> <p>【一日乗車券】800円</p> <p>【敬老パス・おでかけパス(障がい者対象)】年間1,200円でバスを利用できる。 町(保健福祉課)から株式会社奄美航空へ毎年480万円を補助している。 ※敬老パスの対象は73歳以上としていたが、令和4年度より70歳以上に引き下げ</p>		
車両	【29人乗り(19座席)】2台、【27人乗り(21座席)】1台、【14人乗り(14座席)】1台		

敬老パスの登録者数およびバス利用人数

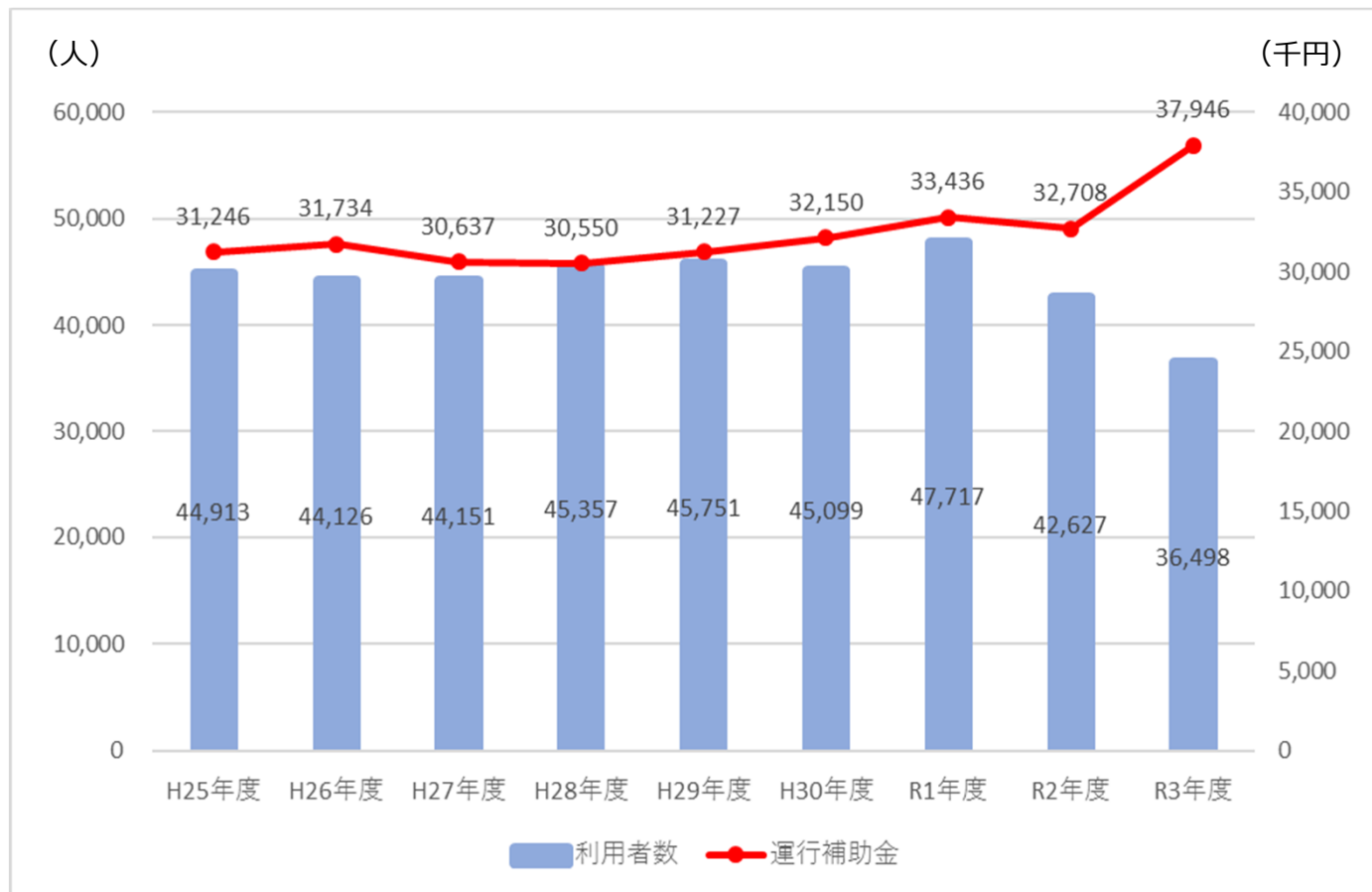
- 敬老パスの登録者数は年々減少している。
- 敬老パス登録者の路線バス利用人数は、R2年度、R3年度はコロナの影響により減少したことが予想されるが、それ以前は増加傾向にあった。
 - 敬老パス登録者一人当たりの乗車回数は増えている。



路線バスの利用者数および運行補助金

- 利用者数はR1年度まで徐々に増加傾向にあったが、コロナ禍の影響もあり、R2年度、R3年度と大きく落ち込んでいる。
- 運行補助金はエンジン等の修繕にかかる費用や燃料代の増加に伴い増加。財政負担が膨らみ続ければ、サービスの継続は困難になる。

路線バスの年間のべ利用者数と運行補助金の推移



スクールバスの利用者数および運行委託金

- 幼稚園、小学校、中学校の子どもたちがスクールバスを利用している。H30年度から3歳児保育が始まったことにより、利用者数が増加したが、R1年度以降は少しずつ減少している。
- 運行委託金は燃料代の増加に伴い、年々増加している。

スクールバスの利用者数と運行委託金の推移



3. 住民の移動特性やニーズ

※路線バス利用者アンケート調査結果報告書より抜粋

路線バス利用者アンケートの実施

1. 調査目的

路線バス利用者の利用実態やニーズを把握するため

2. 調査の対象者および配布件数

調査の対象者：敬老パス・お出かけパスを有する方、その他の利用者

配布件数：466件

3. 調査方法

敬老パス・お出かけパス登録者：区長便にて送付・郵送回収

その他の利用者：路線バス乗車時に手渡し配布・郵送回収

4. 調査期間

令和3年9月15日（水）配布～令和3年10月20日（水）

5. 調査票の回収結果

有効回答数（率）：230件（49.3%）

アンケート用紙（表）

■路線バスに対する考えについておたずねします。

問9 問2で「8. まだ利用したことがない」と回答した方におたずねします。

路線バスを利用しない理由は何ですか。（当てはまるもの全てに○）

- | | |
|------------------|-----------------------|
| 1. タクシーの方が便利 | 2. 家族や知り合いに送迎してもらっている |
| 3. 自宅の近くにバス停がない | 4. 利用したい時間に運行していない |
| 5. 行きたい所へ行くバスがない | 6. 時刻表・ルートがわからない |
| 7. 乗り降りの段差がづらい | 8. その他（ ） |

問10 全ての方におたずねします。

「こんなバスがあったら便利」、「こうしたらバスの利用が増えると思う」など、路線バスについてご意見があれば、ご自由にお書きください。

以上でアンケートは終了です。調査にご協力いただき、ありがとうございました。
お手数をおかけいたしますが、このアンケート調査票のみを同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、9月30日（木）までにポストにご投函くださいますようお願いいたします。

路線バス利用者アンケート

■あなた自身のごことについておたずねします。

問1 各設問について、当てはまるもの1つに○をつけ、④は集落名をご記入ください。

①性別	1. 男性 2. 女性
②年代	1. 10歳代 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代 5. 50歳代 6. 60歳代 7. 70歳代 8. 80歳以上
③職業	1. 会社員・公務員 2. 自営業・自由業 3. パート・アルバイト 4. 専業主婦（主夫） 5. 学生 6. 無職 7. その他（ ）
④お住まいの集落	品内（ ）集落
⑤運賃の支払い方法	1. 敬老バス 2. お出かけバス 3. 現金 4. その他

■普段の路線バスの利用についておたずねします。

問2 路線バスをどのくらい利用していますか。（1つに○）

- | | | |
|-----------|---------------------|------------|
| 1. 週に5日以上 | 2. 週に3～4日 | 3. 週に1～2日 |
| 4. 月に2～3日 | 5. 月に1日程度 | 6. 1年に数日程度 |
| 7. その他（ ） | 8. まだ利用したことがない ⇒問9へ | |

問3 【行き】と【帰り】でよく利用するバス路線を教えてください。（それぞれ1つに○）

- | | |
|------|----------------------|
| 【行き】 | 1. 北本線 2. 南本線 3. 中央線 |
| 【帰り】 | 1. 北本線 2. 南本線 3. 中央線 |

問4 【行き】と【帰り】でよく利用するバスの時間帯を教えてください。

午前・午後のどちらかに○を付け、数字をご記入ください。

- | | | | |
|------|------------|------|------------|
| 【行き】 | 午前・午後（ ）時頃 | 【帰り】 | 午前・午後（ ）時頃 |
|------|------------|------|------------|

問5 路線バスをどのような外出目的で利用しますか。（当てはまるもの全てに○）

- | | | | |
|----------|------------|-----------|-------|
| 1. 通勤 | 2. 通院 | 3. 買い物 | 4. 飲食 |
| 5. 趣味・遊び | 6. 銀行・役所など | 7. その他（ ） | |

問6 移動の目的地を教えてください。（複数回答可）例：病院、スーパー、公園など

- | |
|--------|
| 目的地（ ） |
|--------|

問7 路線バス以外に利用している交通手段を教えてください。（当てはまるもの全てに○）

- | | |
|--------------------|-----------------|
| 1. 自動車（家族の送迎） | 2. 自動車（知り合いの送迎） |
| 3. 徳洲会病院の送迎バス | 4. 日の出タクシー |
| 5. ほーらさヘルパーの介護タクシー | 6. その他（ ） |

アンケート用紙（裏）

■路線バス利用の満足度と改善内容についておたずねします。

問 8 路線バスの満足度を5段階で評価してください。
 また、「やや不満」または「不満」と回答された項目については、不満の内容や改善してほしい内容があれば、右のページにご記入ください。

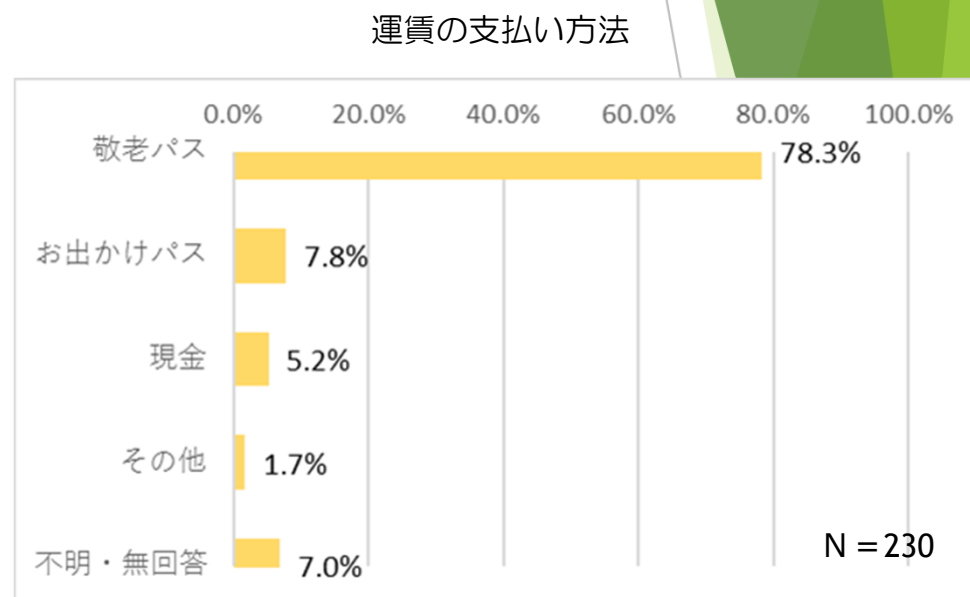
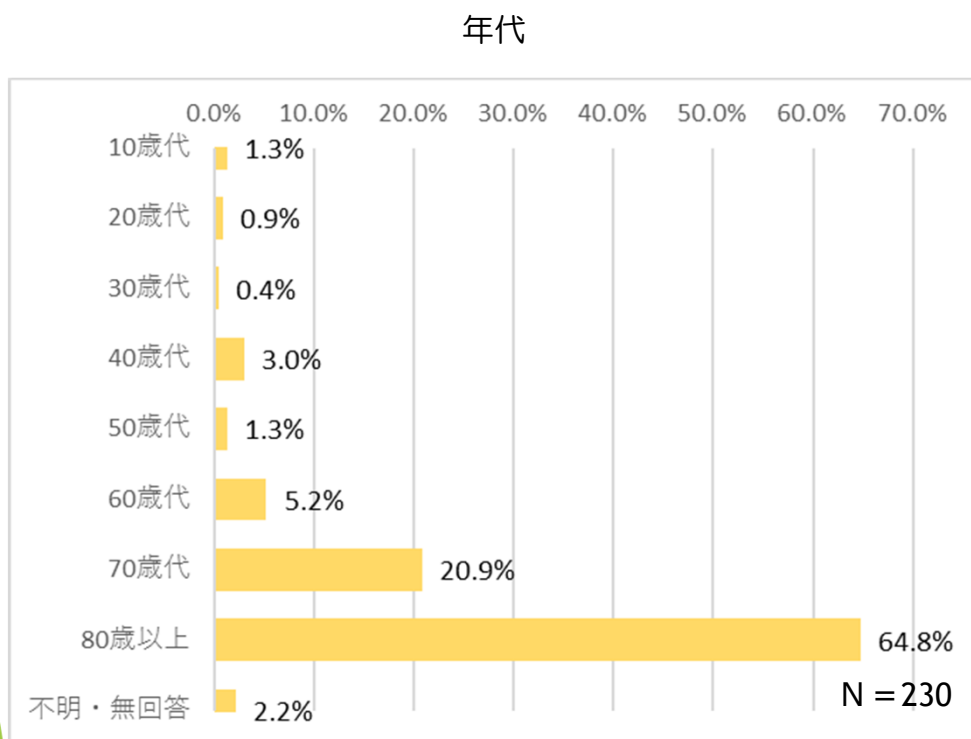
	満足度（それぞれ1つに○）					わからない	
	満足	やや満足	普通	やや不満	不満		
例：①運行本数	5	4	3	②	1	0	例：①朝の便が少ないため、増やしてほしい。
①運行本数	5	4	3	2	1	0	①
②運行している時間帯	5	4	3	2	1	0	②
③運行経路（立ち寄り施設など）	5	4	3	2	1	0	③
④目的地までの所要時間	5	4	3	2	1	0	④
⑤バスが時刻表どおりに発着すること	5	4	3	2	1	0	⑤
⑥バス停の位置（家からバス停までの距離など）	5	4	3	2	1	0	⑥
⑦バス停の時刻表や順路の案内の見やすさ	5	4	3	2	1	0	⑦
⑧バス停の待合環境（屋根やベンチなど）	5	4	3	2	1	0	⑧
⑨バスの乗り降りのしやすさ（段差など）	5	4	3	2	1	0	⑨
⑩バスの車内環境	5	4	3	2	1	0	⑩
⑪バス車内の案内表示のわかりやすさ	5	4	3	2	1	0	⑪
⑫手持ちの時刻表の見やすさ	5	4	3	2	1	0	⑫
⑬運賃（大人：300円、中学生以下：150円）	5	4	3	2	1	0	⑬
⑭自由乗降制度（バス停以外での乗り降り）について	5	4	3	2	1	0	⑭
⑮運転手の対応	5	4	3	2	1	0	⑮



左のページで「やや不満」または「不満」と回答された項目について、不満の内容や改善してほしい内容を具体的にご記入ください。

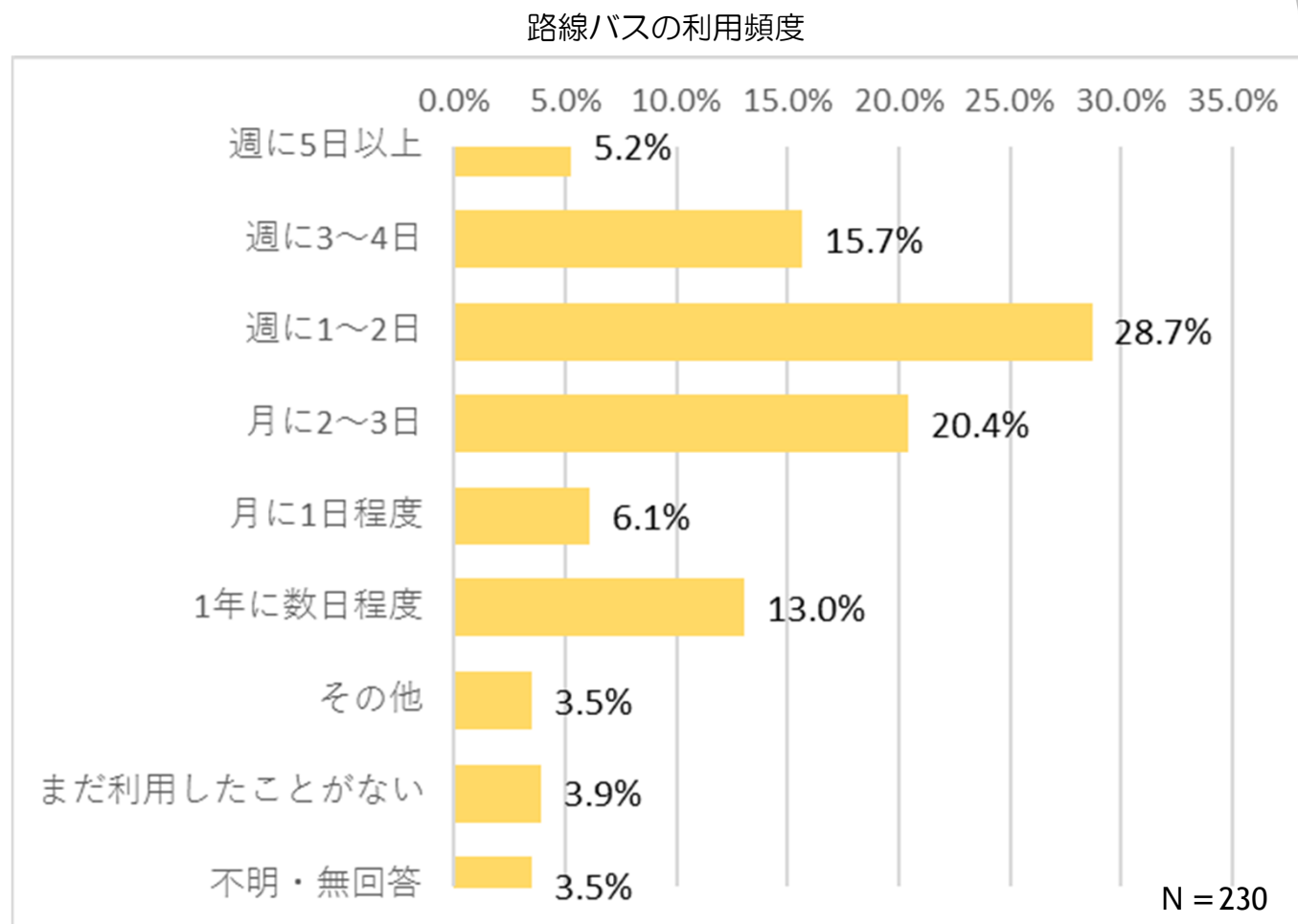
回答者の年代および運賃の支払い方法

- 敬老パスの利用者が78.3%と最も多く、80歳以上、70歳代が多い。
- 次にお出かけパスの利用者が多い。



路線バスの利用頻度

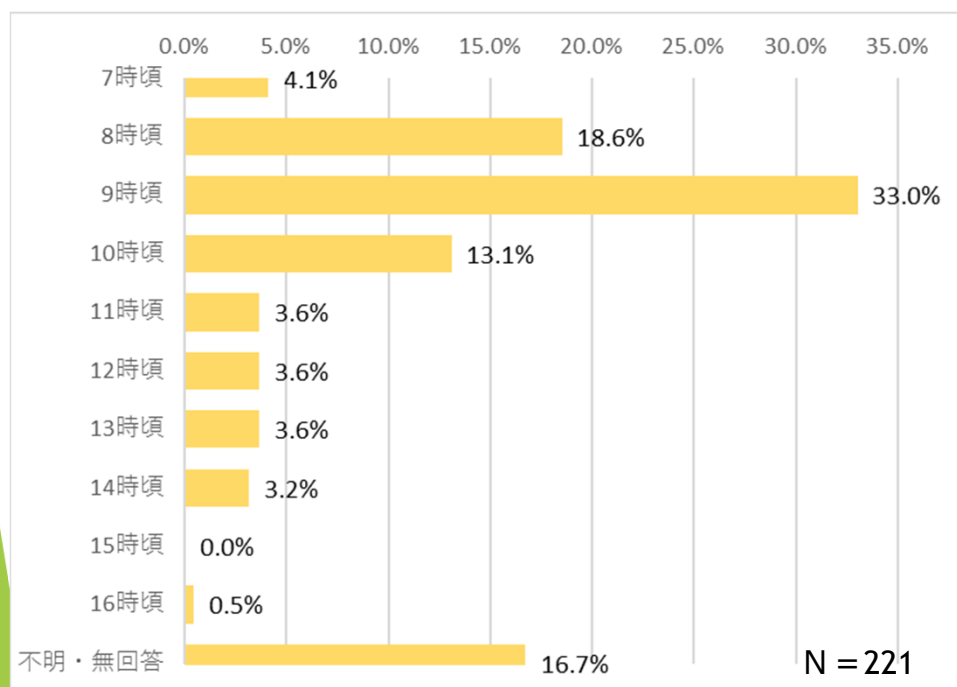
- 「週に1～2日」が最も多く、次いで「月に2～3日」、「週に3～4日」が多くなっている。



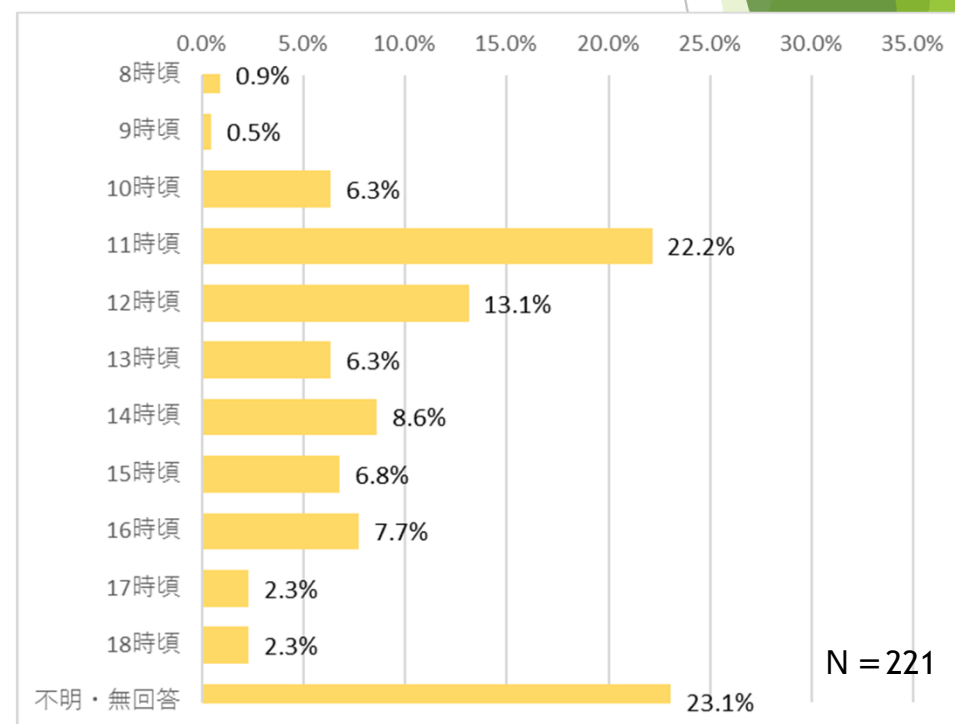
路線バスの利用時間帯

- 【行き】は「9時頃」の利用が最も多く、次いで「8時頃」、「10時頃」の利用が多い。
- 【帰り】は「11時頃」の利用が最も多く、次いで「12時頃」、「14時頃」の利用が多い。

路線バスの利用時間帯【行き】

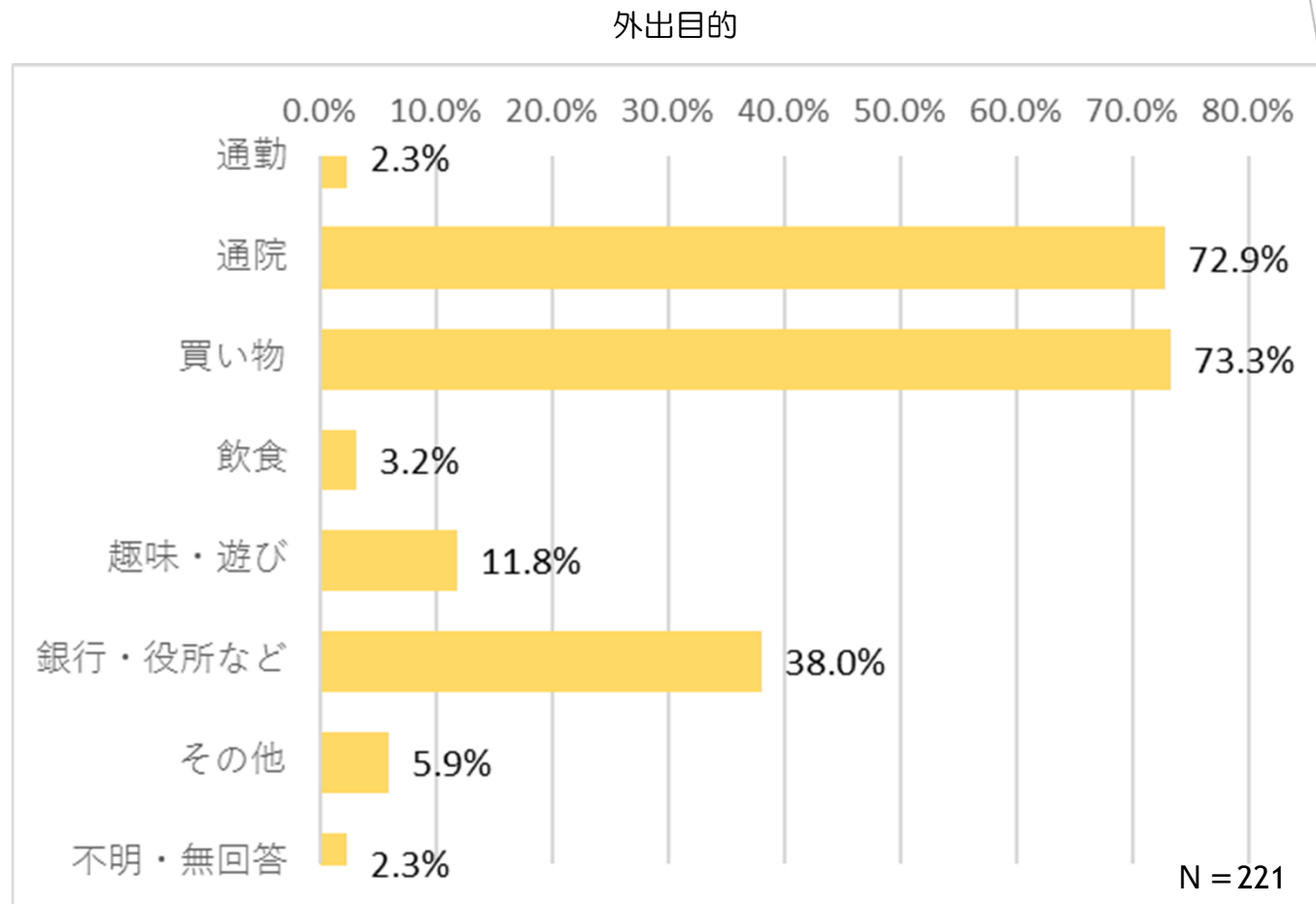


路線バスの利用時間帯【帰り】



外出目的

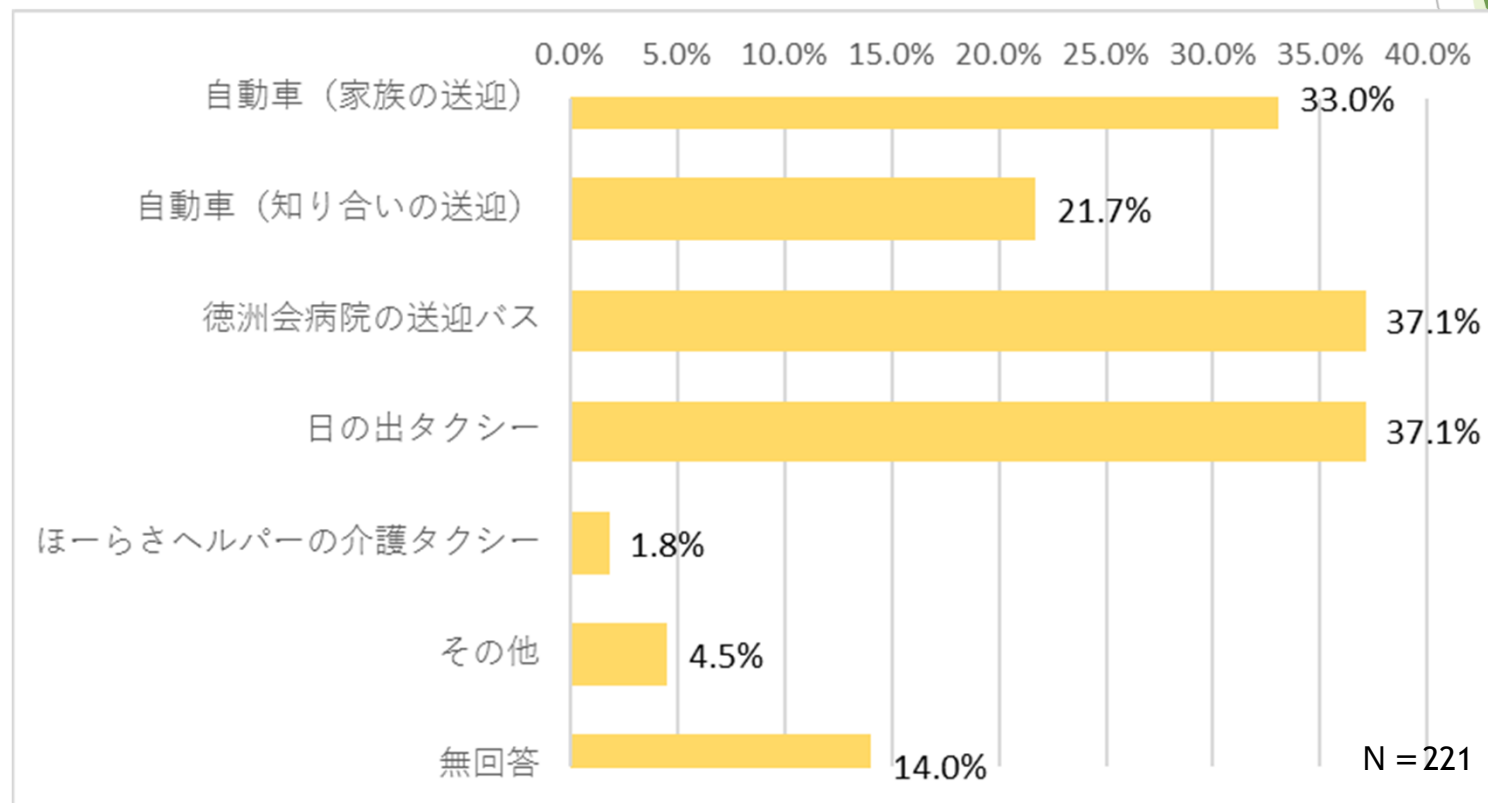
- 「買い物」や「通院」、次いで「銀行・役所など」が多い。



路線バス以外に利用している交通手段

- 「徳洲会病院の送迎バス」や「タクシー」、次いで「自動車（家族の送迎）」が多い。

路線バス以外に利用している交通手段



改善してほしい内容（1） ※主な意見を抜粋

〈運行本数〉

- ▶ 朝の便を増やしてほしい。用事が済んで次のバスまで1時間ほど待つことがある。
- ▶ 乗客なしの路線を見直しすべき。

〈運行している時間帯〉

- ▶ 8時～9時の便を増やしてほしい。
- ▶ 中央線は通勤客がないので、朝の便を30分遅らせてはどうか。

〈運行経路〉

- ▶ スギラビーチや農産物加工センターに寄ってほしい。
- ▶ 13時～14時に中央公民館に寄れる便がほしい。

〈バス停の位置〉

- ▶ 家から最寄りのバス停まで歩いて10分ぐらいかかる。
- ▶ バス停が遠く、目が不自由で大変。

改善してほしい内容（2） ※主な意見を抜粋

〈バス停の待合環境〉

- ▶ 屋根やベンチがほしい。重い荷物を持って太陽、雨風にさらされて立っているのは非常に辛い。

〈バスの乗り降りのしやすさ〉

- ▶ 足が悪いので、段差を小さくしてほしい。

〈バスの車内環境〉

- ▶ 目が不自由でどこか分からないため、車内アナウンスがあれば良い。

〈手持ちの時刻表の見やすさ〉

- ▶ 文字が小さくて見えにくいので、大きくしてほしい。

〈運賃〉

- ▶ 大人300円、高い。
- ▶ 敬老パス料金（年間1,200円）はもう少し値上げしても良いのでは。

その他意見（アンケート調査以外も含む）

- ▶ 早朝のフェリーの入港時（湾港・早町港）に連動する公共交通がなく不便。
- ▶ 体が不自由で自家用車を持っていないお年寄りの方たちが夜間に船旅をする際、タクシーもないため困っている。
- ▶ 朝の港行きのバスがあればありがたい。

4. 地域公共交通の役割

総合振興計画から見た地域公共交通の役割

〈町民一人ひとりが健康で輝くまちづくり〉

- 高齢者福祉の推進、障害福祉の推進
→ 高齢者や障害者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、移動手段を確保・充実し、お出かけの機会を創出する。

〈安心・安全で美しいまちづくり〉

- 交通体系の整備
→ 町民や観光客のニーズに応じ、利便性・アクセス性の高い交通体系を構築する。

〈賑わいのある活気あふれる島づくり〉

- 商工業の振興、観光の振興
→ 外出機会の増加により、人の交流を活発化し、地域経済の発展につなげる。

〈島で育むきらりと輝く人づくり〉

- 地域全体で子供を守り育てる環境づくりの推進
→ スクールバスの運行により、子供たちの通学時の移動手段と安全を確保する。

5. 地域公共交通の課題

地域公共交通の課題

課題1：今ある地域公共交通サービスの改善

- ▶ 既存公共交通（路線バス、タクシー、スクールバス）サービスの見直し
- ▶ 町民や観光客のニーズに合わせたダイヤへの再編

課題2：必要な交通サービスの確保

- ▶ フェリーの入出港時間に連動した交通手段を確保する。
- ▶ 地域にある移動手段の活用、もしくは新たな交通サービスの導入。

課題3：交通サービスの連携を強化

- ▶ 事業者の垣根を超えて連携・役割分担し、利便性を高める。

課題4：公共交通の利用促進

- ▶ 分かりやすい時刻表や路線図などの提供
- ▶ 待合環境やバスの乗り降りのしやすさ（段差）の改善 など

課題5：公共交通の収支の改善

- ▶ 運賃の見直しや効率的な運行によるコスト削減 など